

茅ヶ崎の海を愛する皆様へ

～「茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワーク」からのメッセージ～

2006年2月5日

茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワーク



構成団体：はまけい（茅ヶ崎・浜景観づくり推進会議）
茅ヶ崎シーサイドパレス管理組合法人
茅ヶ崎の文化景観を育む会
特定非営利活動法人ゆい
ほのぼのビーチ茅ヶ崎
まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎

1. 1月31日の大村請願による市議会決議を受けて

私たち「茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワーク」は、フィッシュセンター跡地を含んだ茅ヶ崎海岸地区の土地利用規制を要望する署名活動を展開、都市計画決定を迅速に行うよう求める要望書を提出して参りました。

1月31日の茅ヶ崎市議会臨時議会本会議において、フィッシュセンター跡地を茅ヶ崎市が買い取することを求めた大村日出雄氏の請願が採択され、市は買い取り交渉に向け大きく動き始め、庁内にプロジェクトチームをつくり3月までにまとめるといわれています。市が進めている「地区計画」の発効は3月末、建設業者の着工は2月末から3月初めと想定、今回のマンションには間に合わない、買い取り以外にマンション建設を止める手だてがないと、市長は判断してのことです。ここで注目すべきは、昨年9月初め、助役が非公式に市議会各会派を回って10億円での買取に意見を聞いていた事実が大関議員発言により明らかになったことです。万策尽くさず買い取りありきで進められていたことに署名活動が利用された、厳しい財政状況のなかで一般財源から買い取ることに納得がいかないなど多くの市民の憤りが噴出しています。

しかしながら景観まちづくり審議会の答申はこれからであり、住民説明会も終わっておらず着工できる条件は100%揃っていません。私たちは署名にご協力いただいた方々の信頼に応えるために、2月末まで署名活動を続けるとともに、市に対して万策を尽くすようさらに要望するスタンスは貫く所存です。

漁港地区は「ふれあいを育む交流の拠点」として位置づけられているものの、フィッシュセンター跡地を含めた全体の将来ビジョンに関しては実質的に白紙の状況です。

私たちは、土地利用計画や運営の方向など何ら手立てが講じられないまま、市が当該跡地を買い取ることがあってはならないと考えます。

今後、従来型の公共事業がくり返されたり、それぞれの地権者による無秩序な開発が進められることは、絶対に阻止していかなければなりません。

茅ヶ崎海岸は、決して一部の地権者や利害関係者だけのものではありません。ここを訪れる人々の心のよりどころとなる、市民の共有空間であります。今後は多くの市民が、この茅ヶ崎海岸再生のマネジメントにかかわっていかねばならない、と私たちは考えています。

2. 茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワークのこれから

茅ヶ崎市は明日（2月6日）以降、大京と交渉を始めるとともに、今後プロジェクトチームをつくり、3月末までに基本的な方向性や土地利用についてまとめ、4月以降には市民参加型の協議を進めると聞いております。

私たちは、「茅ヶ崎海岸地区を市民、行政、企業が丸となって守りみんなから愛される癒しの空間として、次世代へと残していく」という目的に向け、これから以下の3点をキーワードに多くの障壁を乗り越えていきたいと思っております。

第1に、私たちは茅ヶ崎市民と行政、地元産業界、そして可能な範囲で当事者である株式会社大京とも手を携えて、問題の解決を図っていきたくと考えています。茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワークは、それを「つなぐ」役割を担っていきます。また、この役割の一翼をマスコミの皆様も担っていただくことを期待しております。

第2に、従来型の公共事業の延長線上で漁港地区の再生をはかるのではなく、市民参加型の「新しい公共事業のあり方＝将来ビジョン」を主体的に提案していく必要があると考えています。これは土地利用のみならず、マネジメントの方向性にも及ぶものであり、私たちは、このビジョンを「描く」ことを呼びかけたいと思っております。

第3に、広範な市民参加を呼びかける意味でも、そのビジョンづくりに「楽しさ」を欠くことはできないと考えます。トータルなイメージづくり、自然植生の試み、イベント施設設計など、人々の思い描く茅ヶ崎海岸の将来ビジョンは無数に存在します。私たちは広く多種多様なテーマを募り、「楽しさ」のあるトライアルを続けていくことが重要であると考えます。

3. 今後の具体的な展開

今後私たちは、上記2)で掲げました3つのキーワード「つなぐ」「描く」「楽しさ」を念頭に活動を展開していきます。

この後、商店街を中心に街宣を行い、明日2月6日に、茅ヶ崎市長に第2弾の署名簿を提出し、市長と今後の方向等について意見交換する予定になっており、その場において、目標実現に向けた、大京と茅ヶ崎市と私たち3者による協議の場の設置を提案して行きたいと考えております。

2月26日には16:00～18:00の間、茅ヶ崎文化会館において「浜景観と土地利用を考えるシンポジウム」を開催する予定です。ここで新しい将来ビジョンを「描く」ことをスタートしたいと考えています。終了後は、皆さまの思いを「つなぐ」場を設け、多くの皆様と懇親会を開催します。

私たち「茅ヶ崎海岸を守る市民ネットワーク」は、今後も広く6kmに及ぶ茅ヶ崎海岸全体を視野に入れた再生プランの作成及びその実現に向けて、微力ながらも積極的に活動していきたくと考えています。